済生会今治病院
病気の話 No.2

脳卒中と思ったらすぐに救急車（脳卒中ホットライン）の活用を！

今回は脳神経外科部長で、日本脳神経外科専門医・日本脳卒中学会専門医の河合辰典医師に「脳卒中と思ったらすぐに救急車（脳卒中ホットライン）の活用を！」について伺いました。

▲河合 辰典 医師

先月号でもお話しましたが、脳血栓回収療法を受けられるために脳梗塞の治療は時間が勝負です。そのために今治地域では、救急隊と連携したホットライン体制が構築されており、もう10年以上私自身も活動を続けています。少しずつ市民の方にも浸透してきている気はしますが、もっと早く搬送されていれば・・・という方がまだまだ多いのも事実です。

脳卒中の初期症状としてよく言われる「FAST」は、顔（Face）・手（Arm）・言葉（Speech）の異常を発見した時には、時間（Time）が勝負ということです。意識や視線がおかしい、なども脳卒中の際によく現れる症状です。救急車は呼びたくない、もう少し家で様子をみよう、という考えを持たず、すぐに救急要請をしましょう。そして状況をよく知っている御家族が同乗してきてくれると、さらに時間短縮につながります。

搬送されてきた方を少しでも早く治療開始するために、当院では脳神経外科医だけでなく看護師・検査技師・放射線技師など院内の多職種と連携チームをつくって待機しています。脳梗塞にならないのが一番ですが、なってしまった時には急いで病院にきて少しでも症状を軽く済ませるために、お互い協力していきたいものです。

社会福祉法人
恩賜財団 済生会今治病院
今治市喜田村7丁目1番6号
https://www.imabari.saiseikai.or.jp/
☎0898-47-2500